

そらこめ通信

No.58 2015年5月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

北海道ではここ数日(4月下旬~5月初旬)とても暖かい日が続いています。4月22日には桜が開花し、5月1日現在ではピークを少し過ぎたあたり。平年より7日から10日も早く桜前線が北海道を通過そうです。もしかすると、GWが終わるころには葉桜かも・・・というほどの陽気です。

農場の雪は既に消え、圃場の準備が着々と進んでいます。種まきは4月16日に始まり4月24日に終わりました。これはほぼ昨年と同じ。融雪が早く進んでも、変えられない部分もあるわけです。

水稻の管理における大事な時期として、苗の移植後の「活着期」やその後の「分けつ期」、稲穂の赤ちゃんが茎の中に出現する「幼穂形成期」とその生育期に当たる「穂ばらみ期」、幼穂が外に出る「出穂期」と「開花期」、種の中に実が入る「登熟期」などがあります。一定以上の収量や品質などを確保するためにはどれも重要な時期ですが、中でも5月から7月にかけての「活着期」や「幼穂形成期」、「穂ばらみ期」から「出穂」「開花」に至る時期などが特に重要なのではないかと思います。東北、北海道などでは温暖な地方と違い、冷害に対する備えをしておくはいいけません。主な方法として深水などでの温度管理があります。話を戻しますが、平年より温暖な春であっても種まきの時期を変えないのは、5月~7月の重要な時期に稲の生育のピークを合わせる工夫なのかも知れません。

その年の天気とどう折り合いをつけるか・・・。ここが農家の腕の見せ所。さて、今年はどうなるのか、どのような出来秋が待っているのか、乞うご期待です。



育苗ハウスの建て込み(3月19日)



播種に使う土の製造作業(3月23日)



育苗ハウスの雪下ろし(3月23日深夜)



花卉ハウス内の耕起作業(3月28日)



灌水パイプの取付作業(3月28日)



花卉用ハウスの仕上げ(4月2日)



育苗ハウスの耕起作業(4月2日)



育苗ハウスの仕上げ(4月5日)



雪化粧したハウス(4月8日早朝)



水田の水切り作業(4月11日)



種まき作業開始(4月16日)



育苗ポットを並べる作業(4月19日)



東京都武蔵五日市駅(4月15日)



駅の壁面には「秋川渓谷」のPR看板



北国旬菜「ななかまど」さんの店舗です



富川様ご夫妻にお会いしました(4月15日)



店舗内に陳列されていた弊社の商品



店舗内に陳列されたお弁当の数々

4月15日朝、東京都あきる野市五日市にある北国旬菜「ななかまど」さんに行ってきました。「ななかまど」さんはお弁当屋さんです。店主の富川様は北海道のご出身とのこと。以前から弊社のお米を使って頂いており、東京に出かけた折り、少し足を延ばしてお店におじゃました次第です。仕込みでとても忙しい時間帯にも関わらず快く迎えて頂き大変感激いたしました。

今後も、安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!